

令和5年2月 市長定例記者会見

令和5年1月31日(火)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただ今より令和5年2月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

会見の進行につきまして、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をさせていただきます。事業発表に係る質疑応答の後に、フリーの質疑応答とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、ご質問の際は、挙手の上、所属名をお願いいたします。発言の際はマイクのスイッチをお願いいたします。

終了は14時30分を予定しておりますので、ご協力をお願いします。

それでは、市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 それでは、2月の定例記者会見です。よろしくお願いいたします。

1月24日からの雪で嶺北とのつながりが、通行止めになるなど非常に皆様にご迷惑をおかけしております。地方整備局の方々をはじめ福井県の土木事務所や本市職員も努力しておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

それから、敦賀気比高校野球部が春の甲子園出場が決定しました。3年連続ということですので非常に期待しているところであります。コロナ禍の中で活躍していただいて全国に元気を発信していただきたいと思っております。

次に、楽天のショップ・オブ・ザ・イヤー2022を昨年に引き続き受賞することができました。3自治体ということで、楽天の中でですけれども、非常にいい結果が残せたと思っております。

それから、今日記者会見がありましたように、金城梨紗子選手がパリオリンピックへ挑戦するということが、併せて敦賀気比高等学校の特別顧問の就任ということがございます。野球だけでなくほかのスポーツについても新たな動きが出てきていますし、それに刺激されて、レスリングだけでなく様々なスポーツが活性化するということが期待しているところであります。

それと呼応する形で、平田竹男早稲田大学大学院教授にアドバイザーとして就任していただきました。非常にいろんな知識や人脈をお持ちなので、そういう面で敦賀市をサポートしていただきたいと思っております。

今日は発表項目1つですけれども、どうかよろしくお願いいたします。

【秘書広報課長補佐】 続きまして、事業発表をお願いいたします。

【市長】 事業発表につきましては1つです。運転免許自主返納臨時出張所の開設についてでございます。

本市では、高齢者が加害者となる交通事故を減少させることを目的としまして、運転免許の自主返納を推進しております。

運転免許の自主返納は、福井県運転者教育センターまたは警察署において受け付けておりますが、自主返納を希望される方の負担を軽減するために、敦賀警察署と連携しまして、2月27日月曜日に敦賀市役所にて臨時出張所を開設いたします。

この臨時窓口では、運転免許の返納手続と、市の運転免許自主返納支援事業の2つの手

続を市役所で行うことができます。

当日は、交通安全に関連した体験コーナーも設置する予定です。多くの方のご利用をお待ちしております。

発表項目は以上です。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問を受けたいと思います。最初に幹事社さんからお願いいたします。

【記者】 支援事業について教えていただきたいんですけども、市の予算規模としてはどれぐらいなのかということと、何人分の交付を確保してますでしょうか。

【市民生活部長】 例年、この支援事業につきましては250名程度の方に申請をいただいている状況でございます。お1人につきまして、お1人当たり2万円ずつ交付しておりますので、年間およそ500万円程度の予算規模となっております。

以上でございます。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社にお伺いいたします。発表項目につきまして質問がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【記者】 今回の臨時返納出張所なんですけれども、各市町でもやっているところがありますけれども、こうやって市役所でやるということで、ここに書いてあるとおり、各市町のやっている支援事業と一緒にできるというメリットがあるのと同時に、返納すると帰れなくなってしまうという中で、こういう出張窓口というのが効果的だなというのはよく知っているんですけども、これを臨時じゃなくて恒久的に市役所に開設するかそういった考えはどうでしょうか。

【市長】 今年度はこの2月27日1日だけなんですけれども、次年度に向けて、この様子を見てということもありますけれども、複数回実施していきたいと考えています。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

[なし]

【秘書広報課長補佐】 それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へと移りたいと思います。

これも幹事社さんのほうからお願いいたします。

【記者】 敦賀市長選についてお伺いします。

先日、1月7日に市議の前川氏が立候補を表明されました。その会見の場で「渚上市長の市政の継承」という言葉もあり、立候補に際して渚上市長からも頑張ってもらいたいという言葉がかけられたということをおっしゃっておられたんですけども、現時点で市長選に関して特定の候補を支援、支持するようなお考えというのはありますか。

【市長】 特定の候補者を支援しようという考えは今はありません。声をかけるのは、皆さんに声をかけますので。

【記者】 大雪のたびに嶺北との寸断が生じることについてはどのようにお考えでしょうか。

【市長】 夏は雨で分断されましたし、この冬は雪でということになりました。雪の降り方というのは、線状降水帯みたいなものがあるんでしょうけれども、そういう通り道みたいなところできているのかなと不安を持っています。ただ、それぞれ昨日の夕方には解除できましたので、頑張っていたいただいた皆様に本当に感謝申し上げます。

もう一つは、以前聞きましたのは、滋賀県のほうから越えてくると、滋賀県との境は皆さん用心して越えて来るんだけれども、一旦下りると、敦賀で雪が少なかったりするとつい緩んでしまってチェーンの装着を外すこともあると聞いたことがありますので、次の峠もあるという周知も必要なのかと思います。

【記者】 先程、冒頭の中でもありましたけれども、選抜高校野球、敦賀気比高校が3年連続の代表ということで、去年、おととしと1回戦で負けてしまったということに対して、今年こそというような気持ちがあるようですねけれども、市長の中で具体的にこんな期待をしているとか、こういうところに注目しているという点があればお聞かせください。

【市長】 先程の金城さんの記者会見の前に気比高校の方とお話ししたんですけれども、おっしゃるように、2年連続1回戦で敗退しました。ですからぜひ1回戦勝ち抜いて次のステップに行きたいとおっしゃっていましたが、私もまさにそうだと思いますので、スケジュールが合いましたらぜひ1回戦に応援に行きたいと思っています。

【記者】 今朝の金城選手の関係になるんですけれども、パリ五輪を目指すということで表明されていましたが、何か激励の言葉とございますか、期待するような気持ちはありますかでしょうか。

【市長】 今日の記者会見のお話を聞いていまして、控室でもお話をさせていただき、前向きに何でもポジティブに捉える方だなと感じました。子育てが大変じゃなくて、その忙しい中でやるのが楽しいんですというようなお話をされました。2回金メダル取られて女王の貫禄というか、女王の風格の中でまた新たなチャレンジをしようという姿勢が見えたので、頑張ってほしいと、すばらしい方だと思いました。

【記者】 ありがとうございます。

金城選手の話の中でも、敦賀市、駅前のottaであったりとか、そういう住みやすいというふうなお話をされましたけれども、何かそれについて感じることはありませんか。

【市長】 私、たまたまスタバのところでお会いしたんですよ。久しぶりにお会いしたなと思って拝見してましたら、芝生のところでお子さん連れて3人でしばらくのんびりされていまして、いい場所ができたんだと、楽しんでいらっしゃるなと思いました。今日の記者会見を聞きながら、あのときの話をされているんだと。

雪国ですから、ご自分も雪国のご出身なので帰ってきたなというイメージだとおっしゃってましたので安心しましたし、敦賀を好きになっていただいているようでうれしいです。

【記者】 ありがとうございます。

【秘書広報課長補佐】 ほかにいかがでしょうか。

[なし]

【秘書広報課長補佐】 それでは、これをもちまして市長定例記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

午後 1時 50分 終了